

*Special Fine*

さちあれ



*18th edition*

2026.06.28sun

大塚MEETS



Listen On Streaming

本日は匿名希望 2nd Album 「さちあれ」 リリースパーティ & 大塚 MEETS アニバーサリーにお越しくささり、誠にありがとうございます。せつかくのリリースということで、メンバーによるコメントをしたためました。転換中、帰り道、帰宅後、好きなタイミングでよかつたら読んでみてください。アルバムへの興味のきっかけになったり、理解が深まると幸いです。



### さちあれ - 匿名希望

2026/6/5 Release

Sound Engineer: 君島結 (ツバメスタジオ)

Jacket Design: ゲーカーナトゥミ



## アルバム全体について



**GIAMO** ゲーカーナトゥミ  
前作から8年経ちました。前々からやってた曲もあるけど、ほとんどの曲はここ1〜2年で一気に作ったものです。長らく活動を続けていると、いいこと嫌なことさまざまながありますが、作ることは変わらず楽しいです。コロナ禍くらいから、わたしはネットフリリのBLACKPINK ドキュメンタリーを始点にヨジャグル(女性グループ)KPOPにハマり始めました。今作にはその影響が出ているのでしょうか?出てなさそう。



**Dr** ダンキャン  
前作「NANORE-ONORE」より作

も曲数は少ない。全体的には90年代っぽいんだけどどの曲もテイストが異なっていて面白いアルバムです。レコーディングでは毎曲ドラムセットを変えたり、ギターのアンプを変えたり、「えーそんな変えるの?」「すげえ音でた〜!」とか1人ではしゃいでました。

ツバメスタジオにいる時は小学生みたいな気持ちでワクワクして楽しかったな。



**Dr** あやちゃん  
匿名希望はスルスルと本当に長く続けているバンドではあるものの、メンバーのテンションもおおむねゆるいのでそこまで年月による変化も無いかなあと思ってたんですが、今回大量に曲を作ってみて意外と変わっているなあとと思う部分も多々ありました。具体的に何ってわけではないのだけれども。ドラム的にはハイハットは全曲クラッシュシンバル2枚を取り付けたものを使ったり、クラッシュの代わりにチャイナを多用したりもするし、スネアは極端なチューニングで録った曲が多いので普段機械への興味がありません。身としては録ってて色々楽しかったです。

# 1. 事情

JUJU

### ゲーカーナトゥミ

この曲は仮タイトルが「叙情カウバーズ」。そう、北海道エモの伝説的バンドCOWPERSです。叙情エモっぽいCOWPERSからの影響が出てくる、などの理由です。8年前の企画にZAVANIE (COWPERS のフロントマン、ゲンドウさんがいるバンド)をお呼びしたタイミングで、このライブでセトリに「叙情カウバーズ」って書いてあるのは流石に気まずすぎるだろう、みたいな理由で本タイトルを決めた気がします。



COWPERS  
「lost days」(1998)

### ダンキャン

大塚 MEETS コンピアルバムにはライブ録音バージョンが入ってます。ラストサビの盛り上がり最後の落ち着いた雰囲気が終わるところがかっこいい。

### あやちゃん

この中だと唯一数年前からやってた曲で大塚 MEETS のコンピにもライブ音源が収録しています。練習でもライブでも最後のギターだけになるところが非常に不安定で毎回ワクワクしているのだけれど今回の録音時はあんまりミスってなかったような気がする。ドラム的にはとにかく右手で刻むの頑張ろう!という曲です。

# 2. 泥

DORO

### ゲーカーナトゥミ

メインのギターリフが出てきた時点で、「あの頃北海道のライブハウスで対バンしてたバンドって、こんな雰囲気だった!」という半分の記憶(我々匿名希望はもともと北海道で結成しましたが、いわゆる北海道エモ・シーンとは世代やシーンもちよつと違うところになりました。実際わたしが北海道エモを認識して聴き始めたのは上京してから)が湧き上がり、「北海道エモ」という仮タイトルをつけました。

### ダンキャン

初期タイトル「北海道エモ」北海道エモをそこまで沢山聞いたことはないけど、こんな感じだろうとベースとしては雰囲気弾き切った感じでした。

### あやちゃん

1曲目の事情に続いて絶叫!爽快!シリーズの曲。前回の NANORE-ONORE の時はこういうテイストが多かつた気がするけど今回は意外と2曲だけでちよつとびつくりした。

ゲーカーのシャウトはずつと一緒にバンドをやっているもずいぶんあと思ふことが多く、どんな曲でもなんか叫んでるといい感じになつてしまうのが偉いと思います。この曲はずいことをずつとやっています。

仮タイトルは北海道エモでした。ただ私自身は「北海道エモ」というジャンルをことさらに意識して音楽を聴いたことがほとんどなく、北海道エモが何のことかよくわからないまま北海道エモという言葉を多用しているのはどうなんだろうかと思つたりもする。

この曲を作つたり演奏したりするにあたって北海道エモというただでさえ解像度が低そうな言葉を非常に解像度の低いまま多用しており、人生とはあやふやなり取りが寄り集まつて出来ているんだなあと感慨にふけりました。今度新曲作るときはあやふやつてタイトルを提案してみたい。

ゲーカーナトゥミ

ライブではわりとサラッとやっていますが、レコーディング時に君島さんに謎エフェクターをお借りして、音源ではビッチビチのファズサウンドにしてみました。

13年くらい前の匿名希望は、わりとこんなタイプの曲をやった。当時は「人見知りグランジ」がキャッチコピーでした。今？いい大人になって「人見知り」なんて言葉で自分を守ろうとするのはやめようと思ってます。北海道生まれオルタナ育ちがキャッチコピーになりました。

ダンキャン

泥と正対なタイトル初期は割とテンポ遅めの曲だったけど、途中からテンポ上げようって誰かが言って最終的に早めの曲になりました。あとギターの音が良い感じに汚い。あんまり清潔感はない。

ゲーカーナトゥミ

3人で「初期スーパーカーじゃん！」「人気者になっちゃおう」とか爆笑しながら作りました。人気者になる気配は一向にありません。わたしはいま、絶賛脱ペーパードライバー活動をしています。3月からペーパードライバー講習に通い、ゴールデンウィークにはレンタカーを借りてハードオフ3軒を巡りました。大学一年の春休みに取得した免許は、もちろんゴールドです。

ダンキャン

作った時はスーパーカーにありそうな曲じゃんってみんなが思いました。でも途中でシャウトが入るあたりは匿名希望っぽいと思わせられるんじゃないかな？！それと僕以外のメンバー2人はペーパードライバーです。



スーパーカー「スリーアウトチェンジ」(1998)

あやちゃん

仮題が「グランジ」だった曲なのに出来上がりはそこまでグランジじゃないなあと思っていたのですが、音源は最高に下品で汚い音にしてくださいのでもしかしたらグランジって名乗っても怒られないんじゃないかと思いました。サビで気恥ずかしいくらいにポップになるのは自分たちの曲ながらいかにも匿名希望っぽいなあ。

ストリート過ぎて気恥ずかしいので途中から変拍子らしきものを入れたいと画策し結果的に「さすまた」からのフレーズができました。個人的にはフレーズそのままに拍子を変えまくってあと何小節かやりたいと主張したのですが却下されたので悲しかったです。

ゲーカーナトゥミ

ベースとドラムのいぶし銀曲です。

サビで一気に歌モノになるカタルシスがポイント。コード感最高に弾いてたやつに乗っかりました。ギターはなんとなく乗っかっていった曲。

作る時に参考にして3人で聴いてたのは、Deerhoofの「Your Dystopic Creation Doesn't Fear You」って曲だったはず。改めて聴いたら全然似てない。

ダンキャン

たしかこの曲はDeerhoofのこんな雰囲気曲やうらいたってスタジオで2人に曲を聞かせて出来た曲だった気がします。

特にドラムが良かったからあやばん先生にドラムのドカドカやつてるやつがカッコいいからこんな感じで作って！ってお願いしてそこに合わせて作られていたと思います。記憶は曖昧ですが、

それとDeerhoofのドラムがカッコいい曲名は忘れてしまった。

あやちゃん

ドラム目線だとライブと音源で一番差がある曲。なんかポコポコ刻んだら面白いんじゃないかと思っポコポコならしてます。

録音時はポコポコ用スネア(タムにスナッピー張ったもの、ツバメスタジオの備品)とその他用スネア(普段使



Deerhoof 「Your Dystopic Creation Doesn't Fear You」 Mountain Moves 収録(2017)

いや( )を2台並べたセットを使ったので、ドラムマガジンにのつてそうなセツトじゃん！とテンションがあがったのですが写真を撮ることを忘れませんでした。

普段から写真を撮る習慣の無い人間は写真を撮るべきタイミングでも撮ることができないということだと思います。

ネタ元がDeerhoofのトリッキーな曲だったはずなのだけと力業の素直な曲になったなあと思います。力業なのでリズム隊はやって非常に疲れる。

曲名の由来はダンキャンが職場で不審者対応の訓練が何かでさすまたを使つたと話しており、じゃあ曲名さすまたでいいじゃんみたいな流れだった気がする。捏造された記憶の気もする。



おれたちはいつでもFugaziになりたい

ゲーカーナトゥミ

あやばんも書いてるけど、Fugaziっぽい曲にしたいねって出発した曲です。

●っぽい曲にしたい、とって出発して全然違うところに着地するのはよくあるのですが、それはそれで楽しい。

テーマのギターアルペジオのフレーズは、出てきた当初自分の中ではミッシェルガンエレファントの「ダニー・ゴー」イントロのペーソフレーズでした。それをメンバーに伝えたら「いい」という反応で、改めて聴いたら全然違いました。

ダンキャン

録音した時に君島さんにスタジオにあつた面白いエフェクターをギターで使用させてもらってテンション上がりました。



THE MICHELLE GUN ELEPHANT 「ダニー・ゴー」 GEAR BLUES 収録(1998)

あやちゃん

あまり過去の匿名希望には無かったタイプの曲な気がする。フガジみたいな曲を作ろうという決意のもと仮題フガジとして作られた曲なのにフガジ要素はまったく感じられない。

序盤のせつない雰囲気が好きです。「さすまた」からの展開は極端に雰囲気変えずぎてあんまりかなーと当初は思ってたのですが何だかんだ最終的にハマった感じがして好きです。その後のエイビートにギターとベースが絡むところはバンドやつてんなあと感じて凄く好き。この曲のことが大好きかもしれない。

なんでみせかけって曲名になったのかは忘れたいけど好きではある。

6. みせかけ MISEKAKE

4. さすまた SASUMATA

5. ペーパードライバー PAPER DRIVER





Read in English

<https://tokumeikibou.tokyo/sachiare-note-english>